

《プロフィール》

## ■松井宏樹

1983年福岡生まれ。

12歳のときにアルトサックスを始め、福岡大学付属大濠高校を卒業後、立命館大学に入学。

在学中はビッグバンド、RU swingin herd jazz emsemble に3年間在籍。

2006年10月より活動の場を東京に移す。池田篤氏に師事。

新宿ピットイン昼の部を拠点にしながら自己のバンドを活動させ続ける。

2012年、鈴木勲 picc-bass のグループ [OMA SOUND] に加入。氏の音楽観に絶大な影響を受ける。  
長野、金沢、名古屋他へのツアーに参加。

2016年7月、松井宏樹・菅原高志カルテット「Freeture」をリリース。好評を博している。

(他メンバーは加藤一平 guitar・小牧良平 bass)

これまでの共演者(一部。敬称略。)

板橋文夫 piano 大我 drums 大坂昌彦 drums 鈴木勲 bass 原大力 drums

川嶋哲郎 tenor sx 池田篤 alto sx 米木康志 bass 辛島文雄 piano

本田珠也 drums 竹内直 tenor sx 林栄一 alto sx 福村博 trombone

南博 piano 向井秀徳 vo,guitar(zazen boys) 吉野弘志 bass 藤原大輔 tenor sx 他。

## ■山中一毅

14歳でサックスを、大学時代にジャズを始める。2012年より渡米しNY州立大学パーチェス音楽院の大学院ジャズ科を卒業。ジョン・ゴードン(sax), 池田篤(sax), リー・コニッツ(sax), ミゲル・ゼノン(sax), トニー・マラビー(sax), ジョン・アバークロンビー(gt), ハル・ギャルパー(pf)らに師事。2015年に1stアルバムをリリース。現在はブルックリンの前衛ジャズシーンを中心に活動し、ラス・ロッシング(pf), キャメロン・ブラウン(ba), ジェラルド・クリーバー(ds)を擁する自己のカルテットで2019年3月に2ndアルバムを録音。演奏・作曲両面で即興性の高い、美しいサウンドを追求している。

## ■林頼我

1999年生まれ、東京 自由が丘出身。

8歳からドラムに親しみ、小学校高学年よりパンクバンドを始め下北沢屋根裏や

三軒茶屋 HEAVEN'S DOOR などに出演、同時に日野皓正主催の DREAMJAZZBAND に参加。

中学三年生の終わりに林栄一トリオや森順治カルテットなどに入り、学業とライブ活動を両立させながら腕を磨く。都立総合芸術高校の打楽器科に入学ののちプロ活動に専念するため中退。

現在は林栄一カルテット、板橋文夫バンド、加藤崇之バンド、鈴木勲バンド、深海魚(吉本章紘、岩見継吾)、MYSH(南博、吉田隆一、瀬尾高志)、丈青トリオ(丈青、秋田ゴールドマン)、DNA(細井徳太郎、津上研太、高橋祐成、瀬尾高志)、松井宏樹バンド、パンクバンドやヒップホップバンドなどで活動中。

タイトでスピード感溢れるグルーブから生まれるユニークなドラミングは、既に唯一無二のサウンドを確立しつつある。

これまでに打楽器、クラシックパーカッション、ドラムを阿久井喜一郎、坂田稔、Scott Latham、合田和美、田中徳崇、各氏に師事。